

スペースシフト、「SateAIs™ API」公式 SDK（Python / JavaScript・TypeScript）・CLI の提供を開始 ～数行のコードで、衛星データ解析を既存システムやワークフローに組み込み可能に～

株式会社スペースシフト（本社：東京都千代田区、代表取締役：金本成生、以下「スペースシフト」）は、衛星データ解析 API「SateAIs™ API」の公式 SDK（Python / JavaScript・TypeScript）および CLI（コマンドラインツール）の提供を開始しました。いずれもオープンソース（MIT ライセンス）として公開し、PyPI・npm からすぐにインストールしてご利用いただけます。

スペースシフトは 2026 年 4 月、衛星データの AI 解析をセルフサーブで利用できる「SateAIs API」β 版を公開し、今後の展開として SDK の提供を予定していました。今回の公式 SDK・CLI の提供開始により、HTTP リクエストの実装や認証処理、解析完了までのポーリング処理といった周辺実装を SDK が吸収し、お客様は数行のコードで衛星データ解析を自社のシステムや解析パイプラインに組み込めるようになります。

■ 公式 SDK・CLI でできること

- ・ **数行のコードで解析を実行** — 解析の実行から結果（GeoJSON）の取得まで、SDK のメソッド呼び出しだけで完結します。解析完了を自動で待ち受ける機能により、非同期ジョブの状態管理を自前で実装する必要がありません。
- ・ **既存の開発環境になじむ設計** — Python 版はデータ解析・GIS ワークフローへの組み込みを想定。JavaScript 版は依存パッケージゼロ・型定義同梱で、Node.js とモダンブラウザの両方で動作します。
- ・ **コードを書かずに自動化できる CLI** — sateais コマンドで、ターミナルから解析の実行・結果取得が可能。シェルスクリプトや cron 等の定期実行ジョブに組み込むことで、プログラム開発なしで定常的なモニタリング業務を自動化できます。



<Python — 数行で船舶検知を実行し、結果を取得>

```
from sateais import Client

client = Client()
job = client.analyze.ship(scene_id="S1A_IW_GRDH...")
result = client.jobs.wait(job.job_id)
```

<CLI — コマンド 1 つで解析から結果保存まで>

```
sateais analyze ship --scene-id S1A_IW_GRDH... --wait -o ships.geojson
```

■ 提供パッケージ

パッケージ	対応言語・環境	インストール
sateais (SDK + CLI)	Python 3.x	<code>pip install sateais</code>
@sateais/sdk	JavaScript / TypeScript (Node.js 18+・ブラウザ)	<code>npm install @sateais/sdk</code>

いずれのパッケージからも、SateAls API が提供する解析（船舶検知／オイルスリック検知／新規建物検知／消失建物検知／時系列変化検知）を統一的なインターフェースで呼び出せます。ソースコードは GitHub（[sateais-py](#)／[sateais-js](#)）でオープンソース（MIT ライセンス）として公開しており、SateAls API Docs には両 SDK のガイド・リファレンスを新設しました。

■ SateAls API ご利用方法

SateAls API Console（<https://console.spcsft.com/>）でアカウント登録・API キー発行のうえ、パッケージをインストールするだけでご利用いただけます。Free プラン（無料・月 500 クレジット）で全解析メニューをお試しいただけます。

※SateAls API は現在 β 版のため、機能・料金は予告なく変更する場合があります。SLA（稼働率保証）は適用されません。



■ 今後の展開

スペースシフトは、SateAls API を衛星データ解析の中核的な提供チャネルとして継続的に拡充してまいります。今回の SDK・CLI に加え、対応衛星・解析メニューの拡充、生成 AI 連携をはじめとする利用環境の整備を進め、業界・職種を問わず衛星データ解析を業務の中でお使いいただける環境づくりを加速してまいります。

■ SateAls

<https://sateais.com/>

■ SateAls API

<https://console.spcsft.com/>

■ SateAls API Docs (SDK リファレンス)

<https://docs.spcsft.com/>

■ CLI / SDK

<https://sateais.com/delivery-api-sdk>

■ GitHub

<https://github.com/spaceshiftinc/sateais-py>

<https://github.com/spaceshiftinc/sateais-js>

* 過去のプレスリリースもご参照ください。

「SateAls API」β 版提供開始：<https://www.spcsft.com/news/4534/>

「盛土検知 AI」追加：<https://www.spcsft.com/news/4484/>

「船舶検知 AI」「オイルスリック検知 AI」追加：<https://www.spcsft.com/news/3794/>

■ SateAls とは

SateAls は、「衛星×AI 解析を、現場の力に」をコンセプトに、スペースシフトが保有する衛星データ解析アルゴリズムを用途別・提供形態別に体系化した解析ブランドです。これまで専門性が高く、導入のハードルが高かった衛星データ解析を、目的別に選択できる AI パッケージとして整理することで、自治体・企業・研究機関など幅広い利用者が、業務課題に応じて活用できる環境を提供しています。



■ スペースシフトについて

2009 年 12 月設立。「Sense the Unseen from Orbit（地球上のあらゆる変化を認識可能に）」をテーマに、地球観測衛星から得られたデータを解析する AI の開発を行っています。インフラ管理、防災・減災、農業、環境保全など、様々な分野で活用可能な衛星データ解析パッケージ「SateAIs（サテアイズ）」を展開。また、事業共創プログラム「SateBiz（サテビズ）」を通じて、衛星データを用いた持続可能な社会の実現を目指しています。

会社名：株式会社スペースシフト（英文表記：Space Shift Inc.）

代表者：代表取締役 金本成生（かねもと なるお）

本社所在地：東京都千代田区大手町 1-6-1 大手町ビル 6 階

設立：2009 年 12 月 11 日

資本金：703,990,750 円（資本準備金含む）

URL：<https://www.spcsft.com/>

■ 本リリースに関するお問い合わせ

株式会社スペースシフト（担当：宮田・竹内）

お問い合わせ：<https://share.hsforms.com/1-fFRnQR2QwW3c-zOTCAanQ5m0z8>

E メール：pr@spcsft.com

* 商品名、会社名、団体名は、各社の商標または登録商標です。